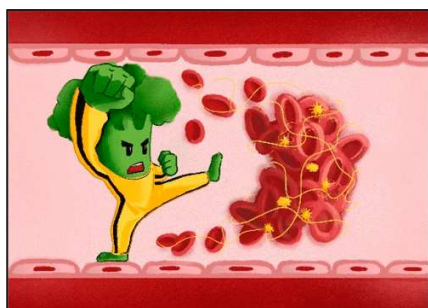


ブロッコリーはスルフォラファンの特異的な抗血小板選択性を介して、rtPAの血栓溶解活性を高める



ACS Cent Sci. 2024 Jan 29;10(2):表紙.

植物由来の食品が血栓症を予防する仕組み

23種類の電気求核性植物由来の化合物と血小板との不可逆的な関与を探り、スルフォラファン (SFN) は、アデノシン二リン酸 (ADP) やトロンボキサンA2受容体作動薬に対する血小板反応を阻害する。また、動脈流条件下での血小板血栓形成を実質的に減少させる。プロテインジスルフィドイソメラーゼA6 (PDIA6) がSFNの迅速な動的応答体であることが特定された。血栓症の電解質損傷モデルでは、SFNは組換え組織プラスミノゲン活性化因子 (rtPA) の血栓溶解活性を高めることが示された。

